

## 岩手県金融経済概況（平成 27 年 7～8 月）

### 1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、底堅く推移している。住宅投資、設備投資は、増加している。公共投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 27 年 7～8 月）は、2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 7 月△1.0%、8 月△3.1%）。

スーパー売上高（平成 27 年 7 月；全店舗ベース）は、4 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+3.1%）。

新車登録・届出台数（平成 27 年 7～8 月）は、8 ヶ月振りに前年を上回った（8 月の「登録車+軽」前年比+1.4%）。

#### (2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額は、高水準を維持している。

—— 公共工事請負金額（平成 27 年 7～8 月）は 2 ヶ月連続で前年比二桁増となった。

新設住宅着工戸数（平成 27 年 6～7 月）は、貸家を主因に 3 ヶ月連続で前年を上回った。

—— 7 月のその他の利用関係別では、持家は 3 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△6.7%）一方、分譲は 3 ヶ月連続で前年を上回った（同+9.1%）。

民間設備投資(短観ベース；平成 27 年度計画)は、全産業ベースで前年を上回っている。

—— 平成 27 年度計画は、3 年振りに前年比二桁増（前年度比+16.9%<修正率+6.9%>）となっているほか、製造業・非製造業とも上方修正されている（修正率；製造業+6.2%・非製造業+8.1%）。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 27 年 6～7 月）は、増加基調を維持している（前年比 6 月+14.1%、7 月+16.6%；平成 24 年 2 月以降 42 ヶ月連続）。

### 3. 生産動向

鉱工業生産指数（季節調整値）は、昨年 10～12 月（前期比+1.3%）、1～3 月（同+4.2%）と 2 四半期連続で増加したあと、4～6 月の 1～3 月対比は減少（同△3.6%）しているなど、横這い圏内で推移している。

—— 4～6 月の動向を主要業種別にみると、プラスチック製品、電気機械、金属製品は増加している。窯業・土石製品は横這い圏内の動きとなっている。一方、生産用機械、情報通信機械、輸送用機械は弱めの動きとなっている。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成 27 年 6～7 月）は、6 月 1.21 倍、7 月 1.27 倍となった。

—— 平成 25 年 5 月以降 27 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録。

—— 有効求人倍率 1.27 倍は、平成 4 年 2 月（1.30 倍）以来の水準。

—— 7 月の新規求人倍率 1.72 倍は、既往ピークを更新した（従来のは平成 27 年 4 月 1.70 倍）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査）は、増加基調を維持しており、3 ヶ月連続で既往ピークを更新した（前年比 平成 27 年 6 月・7 月とも+1.3%；平成 24 年 3 月以降 41 ヶ月連続で増加）。

名目賃金指数は、7 ヶ月振りに前年を下回った（平成 27 年 6 月 前年比△4.9%）。

雇用者所得（県内合計値；6 月）は、常用雇用指数、名目賃金指数とも前年を下回ったことから、5 ヶ月振りに前年を下回った。

## 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 27 年 6～7 月）は、エネルギー価格の下落から、前年を下回った（前年比 6 月△0.3%、7 月△0.2%；平成 27 年 4 月以降 4 ヶ月連続で前年を下回った）。

## 6. 企業倒産

企業倒産（平成 27 年 7～8 月合計）は、6 件、41.9 億円となった。

—— 件数、金額ともに前年（件数 9 件、金額 99.1 億円）を下回った。

## 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>